

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【公表番号】特表 2020-500354 (P2020-500354A)  
 【公表日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-001  
 【出願番号】特願 2019-520578 (P2019-520578)  
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/10 (2012.01)

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

【F I】

G 0 6 Q 10/10

G 0 6 F 3/0481

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 6 日 (2020.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のタスクソースから取得されるタスクアイテムにアクセスし、当該タスクアイテムを操作するためのタスクリストサービスの統一インタフェースを提供するための方法であって、

特定の利用者について、複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースと通信を確立すること、

前記複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースから、前記複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースのうちの第 1 のタスクソースにより生成される第 1 のアイテムを発見すること、

前記第 1 のアイテムに関連付けられ、前記第 1 のタスクソースにより所持される第 1 のタスクを、前記第 1 のアイテムに基づいて作成すること、

前記第 1 のタスクに基づいて、前記第 1 のタスクに関連付けられる第 1 のプロキシタスクを作成すること、

タスクリストサービスの統一インタフェース内で前記第 1 のプロキシタスクを表示すること、

前記統一インタフェースを介して前記第 1 のプロキシタスクとの利用者の対話を受信すること、及び

前記利用者の対話に応答し、前記第 1 のプロキシタスクに関連付けられる前記第 1 のタスクを介して、前記第 1 のタスクソースを起動すること

を含む、方法。

【請求項 2】

前記複数の異なるタスクソースと通信を確立することが、

前記複数の異なるタスクソースのうちの各タスクソースに前記特定の利用者がアクセスするための認証資格情報を提供すること

を更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記認証資格情報は、前記特定の利用者に関連する1 以上のプロキシタスク、及び他の

利用者に関連する 1 以上のプロキシタスクを閲覧する許可を前記特定の利用者に付与した前記他の利用者に関連する前記 1 以上のプロキシタスクへのアクセスを前記特定の利用者に付与する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記複数の異なるタスクソースが  
リレーショナルグラフ、  
電子メールサービス、  
カレンダーサービス、及び  
生産性サービス  
を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 のアイテムを発見することが、前記複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースの第 1 のタスクソースによって作成される 1 以上のアイテムを構文解析して、前記第 1 のアイテムの内容に基づいて前記第 1 のアイテムをヒューリスティックに判定することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記利用者の対話に応答して、さらに、  
前記第 1 のタスクソースに前記利用者の対話を伝送すること、  
前記第 1 のタスクソースから前記第 1 のタスクに対する更新を要求すること、及び  
前記更新を受信することに応答して前記統一インタフェース内の前記第 1 のプロキシタスクを更新すること  
を更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記統一インタフェース内で前記第 1 のプロキシタスクを表示することが、前記第 1 のタスクソースにおける前記第 1 のアイテムにアクセスするハイパーリンクを表示することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

複数のタスクソースから取得されるタスクアイテムにアクセスし、当該タスクアイテムを操作するためのタスクリストサービスの統一インタフェースを提供するためのシステムであって、

プロセッサと、

前記プロセッサによって実行されるとき、

特定の利用者について、複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースと通信を確立すること、

前記複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースから、前記複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースのうちの第 1 のタスクソースにより生成される第 1 のアイテムを発見すること、

前記第 1 のアイテムに関連付けられ、前記第 1 のタスクソースにより所持される第 1 のタスクを、前記第 1 のアイテムに基づいて作成すること、

前記第 1 のタスクに基づいて、前記第 1 のタスクに関連付けられる第 1 のプロキシタスクを作成すること、

タスクリストサービスの統一インタフェース内で前記第 1 のプロキシタスクを表示すること、

前記統一インタフェースを介して前記第 1 のプロキシタスクとの利用者の対話を受信すること、及び

前記利用者の対話に応答し、前記第 1 のプロキシタスクに関連付けられる前記第 1 のタスクを介して、前記第 1 のタスクソースを起動すること

を前記システムが行うことを可能にする命令を含むメモリ記憶装置と  
を含む、システム。

【請求項 9】

前記複数の異なるタスクソースと通信を確立するために、  
前記複数の異なるタスクソースのうちの各タスクソースに前記特定の利用者がアクセスするための認証資格情報を提供すること  
を前記システムが行うことが更に可能にされる、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記認証資格情報は、前記特定の利用者に関連する 1 以上のプロキシタスク、及び他の利用者に関連する 1 以上のプロキシタスクを閲覧する許可を前記特定の利用者に付与した前記他の利用者に関連する前記 1 以上のプロキシタスクへのアクセスを前記特定の利用者に付与する、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記複数の異なるタスクソースが  
リレーショナルグラフ、  
電子メールサービス、  
カレンダーサービス、及び  
生産性サービス  
を含む、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記第 1 のアイテムを発見するために、前記複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースの第 1 のタスクソースによって作成される 1 以上のアイテムを構文解析して、前記第 1 のアイテムの内容に基づいて前記第 1 のアイテムをヒューリスティックに判定することを前記システムが更に行うことができる、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記利用者の対話に応答して、  
前記第 1 のタスクソースに前記利用者の対話を伝送すること、  
前記第 1 のタスクソースから前記第 1 のタスクに対する更新を要求すること、及び  
前記更新を受信することに応答して前記統一インタフェース内の前記第 1 のプロキシタスクを更新すること  
を前記システムが更に行うことができる、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記統一インタフェース内で前記第 1 のプロキシタスクを表示するために、前記第 1 のタスクソースにおける前記第 1 のアイテムにアクセスするハイパーリンクを表示することを前記システムが更に行うことができる、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 15】

特定の利用者について、複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースと通信を確立すること、  
前記複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースから、前記複数の異なるユーザアクセスされたタスクソースのうちの第 1 のタスクソースにより生成される第 1 のアイテムを発見すること、  
前記第 1 のアイテムに関連付けられ、前記第 1 のタスクソースにより所持される第 1 のタスクを、前記第 1 のアイテムに基づいて作成すること、  
前記第 1 のタスクに基づいて、前記第 1 のタスクに関連付けられる第 1 のプロキシタスクを作成すること、  
タスクリストサービスの統一インタフェース内で前記第 1 のプロキシタスクを表示すること、  
前記統一インタフェースを介して前記第 1 のプロキシタスクとの利用者の対話を受信すること、及び  
前記利用者の対話に応答し、前記第 1 のプロキシタスクに関連付けられる前記第 1 のタスクを介して、前記第 1 のタスクソースを起動すること  
を含む、プロセッサ実行可能命令であって、前記複数のタスクソースから取得されるタスクアイテムにアクセスし、当該タスクアイテムを操作するためのタスクリストサービス

の前記統一インタフェースを提供するための前記プロセッサ実行可能命令を含む、コンピュータ可読記憶装置。